

Contents

- ・PTA会長より・・・PTA会長 吉田直司
- ・校長より・・・校長 小野達彦
- ・学年より・・・各学年担任
- ・転入職員紹介
- ・令和2年度 PTA事業及び役員

歴史に残るこの困難
をみんなで乗り越え
ましょう！

PTA会長 吉田 直司



令和2年度PTA会長を務めさせていただきます、吉田です。平素より保護者の皆様にはPTA活動にご理解とご厚情を賜り、感謝申し上げます。

皆様もご承知の通り、2月から新型コロナウイルスの感染が確認され、北海道緊急事態宣言以降、私たちの生活は一変してしまいました。学校でも年度末から新年度にかけて多くの行事が中止になり、生徒たちは休校を余儀なくされ気持ちの切り替えができず多くの方が不安を感じていたのではないのでしょうか。そのような中、学校関係者の方々は、生徒たちの夢と希望のために学校を再開していただき、あらためて感謝申し上げます。

まだ決して油断ができない状況が続いておりますが、この数か月間、生徒たちは日常の何気ない時間を奪われて、とても寂しい思いをしたと思います。生徒たちだけでなく、私自身も「当たり前で過ごしていた何気ない時間」が、どれだけありがたいことかを実感いたしました。それと同時に「人と人とのつながりの大切さ」を感じました。

これからの時代「テレワーク」や「オンライン授業」などが急速に普及していくことが予想されますが、やはり直接会ってコミュニケーションをとることも大切です。生徒たちが人と人とのつながりの大切さを学ぶために穂別高校は非常に重要な役割を担っております。しかし、今後の社会の変化は起こり続けます。直近で言えば、高大接続改革による大学入試関係や2年後の成人年齢の引き下げ、そして新北海道スタイル、歴史に残るこの困難を、保護者の代表であるPTA役員一同、保護者の皆様と学校関係者様と共に様々な変化に対応しながら生徒一人一人の夢に向けての挑戦を支援して乗り越えていきたいと考えております。

今後ともPTA活動に、保護者の皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「世界でいちばん優しい学校からの発信」

校長 小野 達彦

昨年度の「穂別高校の教育に関するアンケート」のデータを見てみましょう。対象は地元の小学5、6年生、中学1、2年生、そしてその保護者です。

問) 本校に対してどのような印象を持っていますか？

	小学生%	中学生%	保護者%
①よい印象を持っている	12.5	9.4	31.7
②よい印象を持っていない	4.2	18.8	2.4
③どちらでもない	-	6.3	41.5
④わからない	83.3	56.3	26.8

自由記載より抜粋



- ・何が特色かわからない
- ・関わる事がほとんどないのでわからない
- ・日頃、高校生とふれあう機会が少なく、よくわかりません
- ・どれが高校生なのかもわからないし、活動も見えない
- ・学校でどのようなことを行っているのか何もわからないので、町民にわかるよう工夫した方がいいと思います

「わからない」「どちらでもない」の多さが気になります。小学生が83%、中学生は2つを併せて62%、保護者も68%です。地元の人たちにこれだけ知られてないということも残念。穂別高校は創立70年の伝統ある学校ですから。

今年度まずはホームページの充実から始めました。おかげさまで4月からの閲覧数が2万回を突破しました。生徒の学校生活や行事、イベント、教育活動に取り組む様子などを「ほぼ毎日アップ」しています。どうぞスマホからでも、ご自宅のパソコンからでもアクセスしてみてください。いろんな場所で「見てるよ!」と声かけをいただき、励みにしております。「HKB48（穂別校長ブログ）」は現在シーズン2を掲載中です。

次に「あいさつと掃除。」子どもたちが卒業後に社会へ出て必要とされるコミュニケーションの2つです。きちんとあいさつができ、自分の場所をきれいに掃除できる人になってほしいと思います。毎朝の登校時からあらゆる場面で訴えかけています。下校後には町内でもきちんとあいさつができていますでしょうか？ 校舎については多くの来校者より「きれいな学校ですね」と驚かれます。「はい、生徒たちが掃除しています」と答えます。

コロナ禍で地域の皆さんとの連携もむずかしい中ですが、「愛誠園」で入所者の方々とマリーゴールドの植栽をしたり、1年生が町中をウォークラリーで巡ったりしています。今後も、少しずつできることから町民の方々との交流を図りたいと考えています。

最後に「優しい気持ちのあふれる学校」です。入学式用にこのような式辞を用意しました。壇上で話すことはできませんでしたので、当日は印刷・配布しました。（以下参照）

誰かに何かをしてあげたいと思う人は、視野が広がります。そういう場面や人を探すからです。視野が広くて元気な人はすすんで学ぼうとします。それが生きる力に繋がります。ぜひ穂別高校で学ぶ力、学ぶ姿勢を身につけてください。優しさは人に伝わります。どんどん増えて、やがてあなたの周りには、優しくて思いやりのある人でいっぱいになります。

この穂別高校を、笑顔があふれる場所にしませんか。お互いがお互いを応援しあう、助け合う、高め合う、思いやる、そして学び合う、そんな学校にしませんか。

そして最後にこう結びました。

この穂別高校を、穂別の町を、そして北海道を、日本を、世界を、そんな素敵な場所に変えませんか。つまり「穂別高校から世界を変える」です。ゴールはあくまで「世界一」です。今日から世界を変えるという壮大な目標に向かって、一緒に努力を始めましょう。

穂別高校の教職員はがんばっています。それは生徒たちががんばっているからです。

小規模校の利点を活かし、一人ひとりの生徒とのやりとりを大切に考え、指導しています。

いろんな場面で生徒たちは優しい行動をしてくれています。欠席した仲間や体調のよくないクラスメイトを心配する声かけ、汚れに気づいたらすすんで清掃、気持ちのよいあいさつ、「ありがとうございます」の連鎖など。「人が環境を作り、環境が人を作ります」。

穂別高校の活動にぜひご注目ください。さらなる成長には皆さまのご支援・ご協力が不可欠です。どうぞよろしくお願いいたします。そしていつもありがとうございます。

～学年団紹介～

1 学年



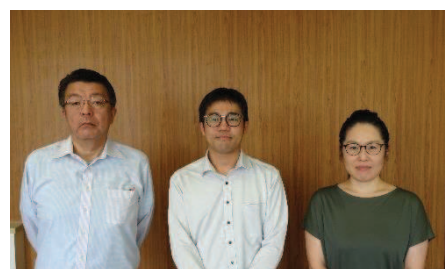
成田 飛驒 伊勢谷 濱田
(情報商業) (担任/英語) (地歴公民) (養護)

2 学年



大関 貝出 武田 佐野
(実習助手) (体育) (担任/理科) (音楽)

3 学年



大友 早瀬 石井
(国語) (担任/数学) (家庭)

～学年団より～



1 学年 ～3年後も変わらぬ思いやりを～

1 学年 A 組 担任 飛 驒 勇 佑

4 月 8 日に迎えた入学式は、例年と違ったものになりました。新型コロナウイルスの影響を受け、全員がマスク着用・返事は心の中で・集合写真は中止。緊張や不安の中、様々なことが新しい生活様式によって変化した最初の学年となりました。クラスで活動することが難しい時期もありましたが、それにも負けず 1 年生は皆休むことなく登校し、部局活動や委員会活動に積極的に参加しています。クラスでの会話も少しずつ増え、お互いを理解し始めています。童謡作家の金子みすずさんが「みんなちがって みんないい」と言ったように、異なった個が集まった集団がそれぞれの良さを認め合いながら、集団で成長できるクラスになってほしいと願っています。

日々の黒板の日付や時間割をさりげなく変えてくれる生徒。無くなった消毒液をいつの間にか補充してくれる生徒。一人で座っていると声をかける生徒。そんな思いやりを大切に個々が輝ける集団のままで、高校生活を送ってほしいと思います。

2 学年 ～自分に厳しくをテーマに～

2 学年 A 組 担任 武 田 幸 大

休校期間を経て、ややぎこちなかった教室の空気も今や昔、活気あふれる教室に戻ってきました。学校生活に慣れ、やや気の緩みも出てきましたが、後輩との関係に悩んだり、難しくなる勉強に向き合ったりと、学びが多かった前期だったと思います。2 学年の 10 名が各々の課題に向き合い、少しずつ成長していく瞬間が色濃く見られた時期でした。

3 学年から穂別高校というバトンを引き継ぎ、後輩たちにつなぐ番になりました。今年度は感染症で不確定な部分が多く、世間の動向に振り回されて大変かとは思いますが。そんな厳しい状況だからこそ、行事をやりきることが自信になると担任としては考えています。その時にお子様に寄り添い、成長の場にできるよう学年団で支援をしていきたいと思っております。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

3 学年 ～異なる幸せの形～

3 学年 A 組 担任 早 瀬 憲 寿

3 学年では卒業後の社会的自立を目指し、卒業後に繋がる社会人基礎力（コミュニケーション能力、基礎的な知識・技能、主体性、考える力）を身につけることを目指しています。特に今年度は、「自立と自律」「自己実現」「社会人基礎力の定着」を目標にしています。これらの目標に向かって学校生活に取り組み、今日まで積み上げてきた力を発揮し、進路実現とともに、卒業後生きていく実社会で役に立つ力を習得し卒業してもらいたいと願っています。

新型コロナウイルスの影響で、例年とは異なる進路活動となりましたが、自身の意思や責任のもと、学校生活・進路活動に取り組んでいます。ひとりひとりが幸せな人生を歩めるよう学校生活・進路活動の場面で支えたいと思います。

令和 2 年度 P T A 役員及び P T A 事業

令和 2 年度 P T A 役員		令和 2 年度 P T A 事業	
会 長	吉 田 直 司	4 月 2 5 日	P T A 総会 （コロナウィルス感染症対策のため書面にて実施）
副 会 長	土 田 亜由美	5 月 7 日	むかわ町 P T A 連合会総会 （コロナウィルス感染症対策のため書面にて実施）
〃	原 口 毅	6 月 2 0 日・2 1 日	第 7 0 回北海道高等学校 P T A 連合大会「石狩・札幌」（中止）
〃	山 本 直 子	7 月 1 8 日・1 9 日	学校祭 P T A 巡回警備協力（中止）
監 査	清 川 智 代	9 月 1 8 日	体育大会運営協力（中止）
〃	遠 藤 理 恵	9 月 3 0 日	P T A だより発行

令和2年度 転入職員紹介



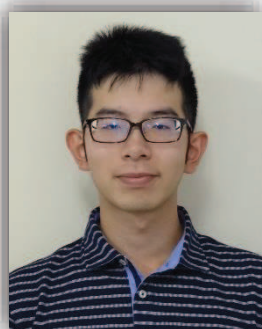
校長 小野 達彦（前任校：野幌高校）

2人の娘はじめ家族全員が博物館好きでしかも恐竜が大好きなので、赴任先が穂別と聞いて喜んでいます。4月から40名のめんこい生徒たち、16名のすばらしい教職員スタッフとともに、保護者の方々や地元の皆さんに支えていただきながら夢のような毎日を過ごしています。どうぞよろしくお願いいたします。



事務職員 板垣 晶大（新採用）

皆様大変お世話になっております。穂別高校事務職員の板垣と申します。赴任して早いもので4ヶ月が経ち、公私ともに地域の皆様の暖かさを実感しております。皆様のお力に少しでもなれるよう努めて参りますので、今後ともよろしくお願いいたします。



非常勤主事 宮田 洋介

皆さん初めまして、宮田洋介です。こちらの高校に通っていた当時は、生徒会で副会長を務めていました。部活は弓道部に入っていました。射形は悪かったと思いますが、的には当たっていたと思います。趣味は、季節によって変わります。春は山菜取り、夏から秋の間は家庭菜園、冬はワカサギ釣りです。自然と触れ合うことが好きです。鼻炎ですが、猫が大好きで6匹飼っています。

こんな私ですが、皆さんの学生生活を精一杯サポートしていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

～編集後記～

保護者の皆様には、日頃より穂別高校の教育活動にご理解とご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

今年度は新型コロナウイルスの影響を受け、臨時休校や部活動大会の中止、学校行事の中止や延期によりPTAだよりに例年掲載しております部活動の活動記録や学校祭の様子などを掲載することができませんでした。

後期には新型コロナウイルスへの対策を踏まえたうえで学校祭の代替行事や2年生では見学旅行も日程を変更して実施する予定であります。また、部活動の大会参加や演奏会なども行う予定で準備をしております。

世の中は決して安心できる状況ではなく、新しい生活様式にもまだ慣れない日々が続きますが、穂別高校生が学習や部活動などの学校生活に全力で取り組めるよう、保護者の皆様には今後ともご協力・ご支援のほどお願い申し上げます。

